



弾道ミサイル攻撃から身をまもる為に

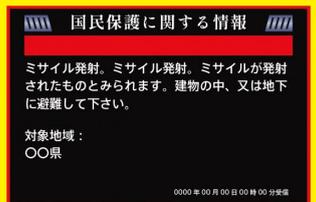


を分けるのは 避難行動

弾道ミサイルが着弾した場合、激しい爆風や破片などにより、身体へ大きな被害を受ける可能性があります。爆風や破片などから身を守るため、状況に応じた避難行動をとることが大切です！



ミサイル情報
J
アラート



10 弾道ミサイルは、発射からわずか**10分**もしないうちに到達する可能性もあります。

弾道ミサイルが着弾した場合、**激しい爆風や破片**などにより、身体へ大きな被害を受ける可能性があります。

弾道ミサイルが日本に飛来する可能性がある場合は、Jアラートを通じて**屋外スピーカーや携帯電話の緊急速報メール等によりメッセージ**を流します。

メッセージが流れたら直ちに以下の行動をとってください
弾道ミサイルが上空を通過した場合など避難行動をとる必要がなくなった場合は、避難の呼びかけを解除します

屋外にいる場合 爆風や破片などを避ける

近くの建物の中または地下へ
緊急一時避難施設※をはじめ、コンクリート造り等の頑丈な建物や地下街、地下駅舎等の地下施設へ避難することが望ましいですが、それ以外でも構いません。

もしも近くに建物がない場合は…

物陰に身を隠すまたは**地面に伏せ頭部を守る**

※緊急一時避難施設：弾道ミサイル攻撃による爆風等からの直接の被害を軽減するための一時的な避難に活用する観点から都道府県知事等が指定する施設。



屋内にいる場合 爆風で割れた窓ガラスなどを避ける

その場で安全を確保し
窓から離れるまたは**窓がない部屋へ**



詳しくは、内閣官房国民保護ポータルサイトへ

国民保護 🔍 検索



このマークは、国民保護の措置を行う人や車両などを識別するための国際的な特殊標章です。



Q よくあるご意見と回答 A

❶ Jアラートってなに？

弾道ミサイル情報、津波情報、緊急地震速報など、対処に時間的余裕のない事態に関する情報を国から住民まで瞬時に伝達するシステムです。**(弾道ミサイル情報だけに使われるシステムではありません)**

❷ Jアラートはいつ使用されるの？

弾道ミサイル発射の際は、日本の領土・領海に落下する可能性又は日本の領土・領海を通過する可能性がある場合に使用されます。

❸ ミサイルの落下物について

もし、不審なものを発見した場合は、決して近寄らず、すぐに警察、消防や海上保安庁に連絡してください。

Q1 Jアラートが流れた後に避難を始めても手遅れでしょう？

A 避難行動にかけられる時間は限られたものですが、それでも、近くの建物の中や地下へ避難する、物陰に身を隠すなど、わずかな時間でもできることはあります。

Q2 近所には、丈夫な建物も地下もなく、避難できるところがありません。

A 横(水平)方向に広がる爆風や飛散する破片などに対して身体の衝突面を極力減らすことが重要なので、木造住宅へ避難するだけでも、避難行動をとらない場合と比べて被害を軽減できる可能性が高まります。

Q3 地面に伏せる、頭部を守る……。それで、ミサイル攻撃から身を守れるとは思えません。

A 横(水平)方向に広がる爆風や飛散する破片などに対して身体の衝突面を極力減らすことが重要なので、避難行動をとらない場合と比べれば被害を軽減できる可能性を高めることができます。

Q4 避難したところで、弾道ミサイルが直撃したら何をやっても無意味では？

A 弾道ミサイルによる被害の程度は、その威力などによりさまざまであり一概には言えませんが、地下への避難などの適切な避難行動をとることで、避難行動をとらない場合と比べて被害を軽減できる可能性を高めることができます。

国民保護情報
リンク集

内閣官房国民保護ポータルサイト
<https://www.kokuminhogo.go.jp>



愛知県国民保護計画

<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/bosai/0000014713.html>



愛知県防災安全局防災部防災危機管理課 危機管理・国民保護グループ

〒460-8501 名古屋市中区三の丸三丁目1番2号

TEL / 052-954-6143 FAX / 052-954-6911 E-mail / bosai@pref.aichi.lg.jp